

■ビーコン基礎知識

①：ビーコンとは？

ビーコンは携帯時には国際周波数の457KHz電波を常に発信している状態にし、雪崩れに巻き込まれた場合に発信される電波を元に捜索し埋没した仲間を素早く発見し救助する手助けとなることを考えて作られた道具です。

②：アナログ・デジタルと聞きますが？

昔はアナログ式でピープ音の強弱を頼りに捜索していました。これは、電波の強弱を示すもので、実際の救助者の位置を示すものではありません。アンテナは通常1本。デジタル式は現在の主流で、ビーコン内でデジタル処理をすることにより、救助者の距離・方向等を解析し、数値・方向をデジタル表示する物です。アンテナ数は1～3本。アナログよりもデジタルがより詳しく表示され使い易い。

③：捜索方法は？

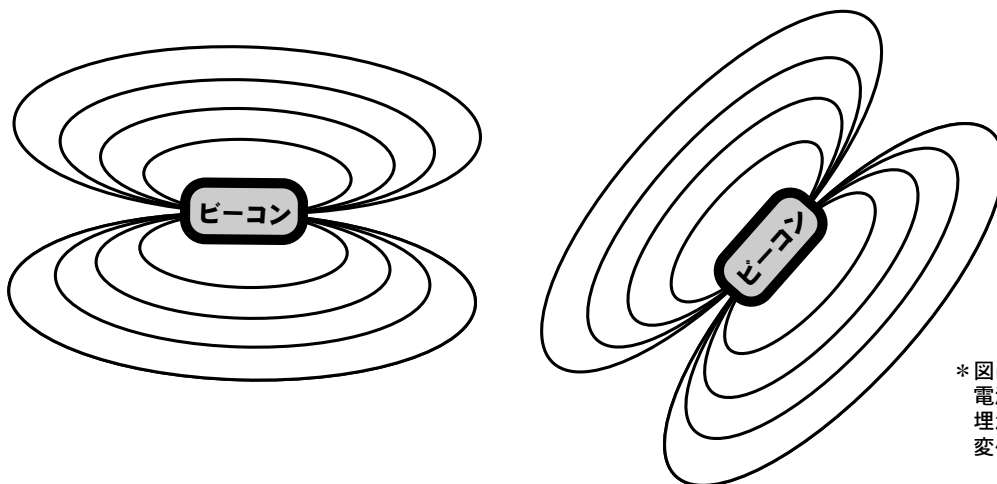
同行者が雪崩で埋没した場合には、ビーコンを受信モードに切り替え、発信されている電波の強弱や方向から、埋没位置にを特定します。

ビーコンの種類によって操作方法も異なりますので、事前練習が前提となります。

④：電波曲線とは？

ビーコンは電波の強弱を元に捜索しますが、ビーコンから発信される電波は放射線状に四方八方に発信されている物ではありません。

下図に描いている曲線状に発信されております。



*図は2次元に描画しておりますが、電波は3次元に発信しております。埋没者の向きにより曲線の向きも変化します。